

資料 1

平成26年度 事業実施報告

平成27年度 事業計画

平成27年度 白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

平成27年10月7日

津軽白神森林生態系保全センター

○H26 第1回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H26.6.28	鱒ヶ沢内 東赤石山国有林 2061林班外	一般募集 13名	○自然再生活動 実施箇所付近の林道法面から広葉樹稚樹約200本を採取し、実施箇所付近の林内に仮植栽をした。 その後、奥赤石ブナ遺伝資源保存林を散策し、白神山地や周辺地域の自然環境や生態系について学習した。



作業実施上の注意事項などを説明しました。



道路法面からブナ外広葉樹の稚樹を採取しました。



採取した苗木は、付近の林内に仮植しました。



作業終了後、午後は遺伝資源保存林の散策を行いました。

○H26 第2回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H26.07.26	鱒ヶ沢町内 東赤石山国有林 2051林班	一般募集 15名	○自然再生活動 実施箇所付近の林道法面から広葉樹稚樹約100本を採取し、実施箇所付近の林内に仮植栽をした。 その後、くろくまの滝まで散策し、白神山地や周辺地域の自然環境や生態系について学習した。



道路法面などから採取した稚樹を、林内に仮植しました。



作業終了後、仮植した苗木の前で集合写真を撮りました。



作業終了後、午後はくろくまの滝の散策を行いました。



散策後、くろくまの滝の前で記念撮影を行いました。

○H26 第3回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H26.10.30	鱒ヶ沢町内 東赤石山国有林 2051林班	一般募集 11名	○自然再生活動 実施箇所付近の林道法面から採取した 広葉樹の種子約200個を、実施箇所付 近の林内に播種した。その際、一部試験 的にカミネッコンを使用した。 その後、くろくまの滝と紅葉の赤石溪 流線を散策し白神山地や周辺地域の自然 環境や生態系について学習した。



カミネッコンを使用して、広葉樹の種子を播種しました。



カミネッコンを埋めている様子です。



午後はくろくまの滝と赤石溪流線の散策を行いました。



くろくまの滝の前で記念撮影を行いました。

平成27年10月7日

津軽白神森林生態系保全センター

平成27年度自然再生活動拠点の列状間伐について

このことについては、当協議会の現地検討会を今年度の早期に開催し、列状間伐の実施にあたり、より広葉樹の侵入生育を促すための、伐採列の位置や方角等についてご審議いただく予定としていたところ、白神ラインの融雪災害による通行止めや、請負事業期間の関係から現地検討会を開催できなかった。

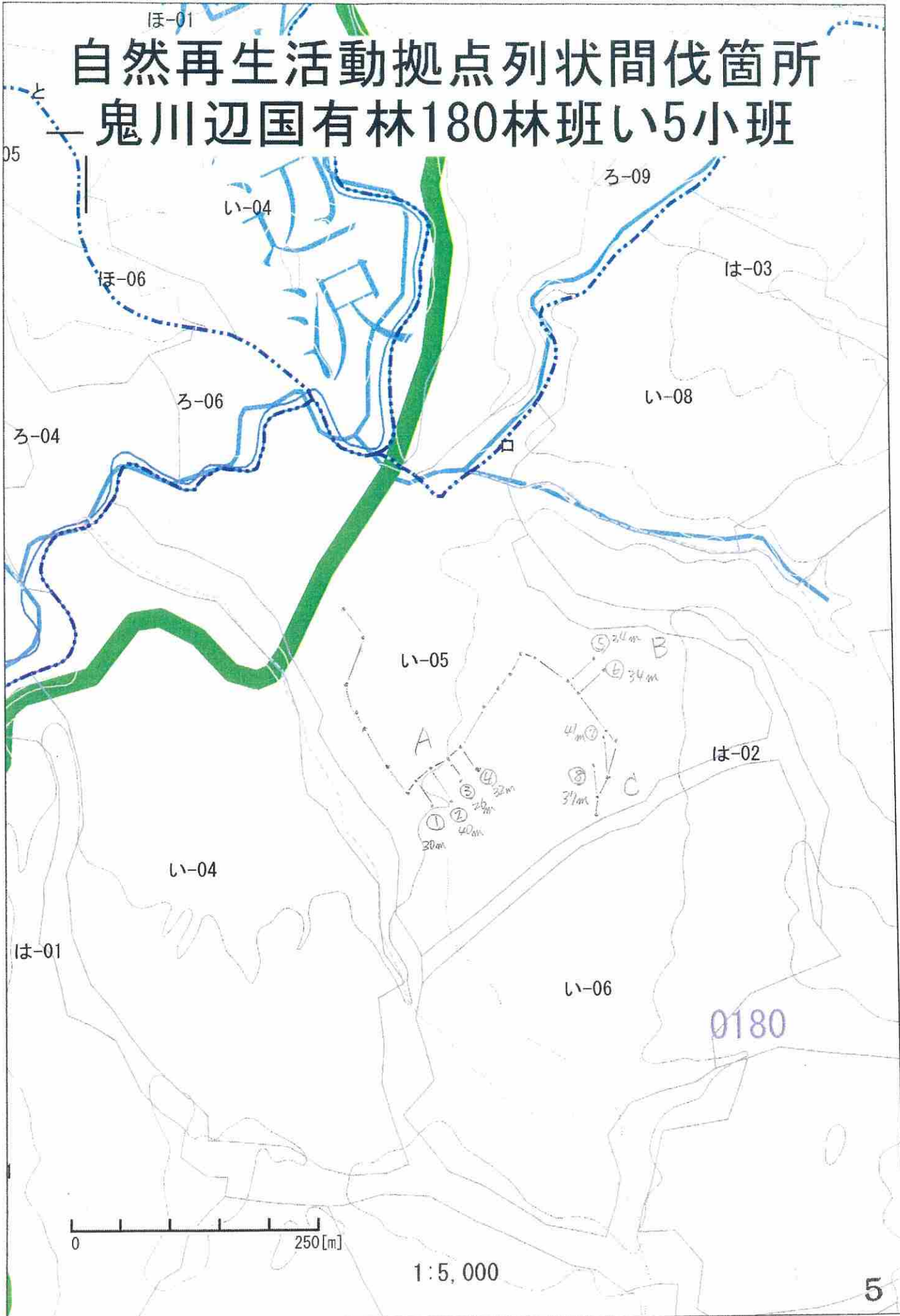
このため、本日の協議会の席上において、180林班の自然再生活動拠点における、列状間伐実施前後の状況について報告する。

西目屋村鬼川辺国有林180林班の自然再生活動拠点では、林地を列状に間伐し、その後の植生の生育状況などを調査することとし、次の3種類のプロットを設定した。

- A 搬出路に対して直角の伐採列
- B 広葉樹の区域ぎりぎりまでの伐採列
- C 日照を考慮して南北に設置した伐採列

これらのプロットについては、今年度、請負事業により伐採を完了したため、次年度以降改めて、当該自然再生活動拠点での検討会を開催したいと考えている。

自然再生活動拠点列状間伐箇所 — 鬼川辺国有林180林班い5小班

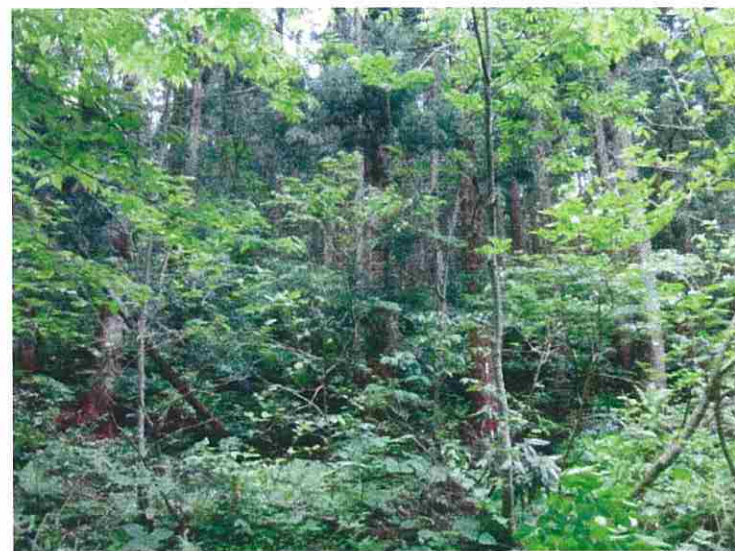


0 250[m]

1:5,000



伐採前 ③



伐採前 ①



伐採後 ③



伐採後 ①

○H27 第1回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H27.07.04	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班	一般募集 7名	○自然再生活動 実施箇所付近の林道法面から広葉樹稚樹約100本を採取し仮植した。また、付近のスギ人工林の枝落としを行い、将来の自然再生にむけて良質な建材を確保するための一助となる作業を行った。 その後、ブナ林散策道を経由して暗門第三の滝まで散策し、白神山地や周辺地域の自然環境や生態系について学習した。



道路の法面、路肩などから広葉樹の稚樹を採取しました。



採取した稚樹は、付近の林内へ仮植しました。



付近のスギ人工林で枝落とし作業も体験しました。



午後からは暗門第三の滝まで散策をしました。

○H27 第2回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H27.07.25	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班	一般募集 8名	○自然再生活動 実施箇所付近の林道法面から広葉樹稚樹を採取し仮植する予定だったが、朝からの悪天候のため、午前中は白神山地ビジターセンターの展示を見学。 午後からは暗門のブナ林散策道を散策し、白神山地の自然環境や生態系について学習した。



雨天のため、白神山地ビジターセンターを見学しました。



午後は天候も回復したので、散策を行いました。



暗門の滝が不通のためブナ林散策道を散策しました。



アクアグリーンビレッジANMONでの集合写真です。

○H27 第3回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H27.9.12	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班	一般募集 15名	○自然再生活動 実施箇所付近の林道法面から広葉樹稚樹約200本を採取し仮植した。白神ラインの工事箇所付近を通過することとなったため、白神山地の厳しい自然環境の様子を体感してもらうことができた。午後からは暗門のブナ林散策道を散策し、白神山地の自然環境や生態系について学習した。



道路の法面、路肩などから広葉樹の稚樹を採取しました。



作業終了後、仮植した苗木の前で集合写真を撮りました。



この日も暗門の滝が不通のためブナ林散策道の散策でした。



アクアグリーンビレッジAN MONでの集合写真です。

問題点・課題等について

- 1 参加人員の確保が課題。特に平成27年度は一桁台の参加人数の回があったりと、盛況とは言いがたい状況もあった。
どのようにPRし、より多くの方々に参加していただけるかが課題。
- 2 参加者についても、一般参加者のみならず、企業、ボランティア団体など、多岐に亘るジャンルの方々の参加をどのように増やしていくかが課題。
- 3 また、平成26年度に自然再生活動に参加された一般の方々から頂いたアンケートの中では「作業時間を長くして欲しい」「採取する樹木と採取しないものとの違いを知りたい(再生の手法について詳しく知りたい)」などの要望が寄せられている。
- 4 一般公募や、児童対象の自然再生活動のメニューでは、植栽の希望が多く、活動拠点付近での稚樹の採取・植栽に偏りがちになっている。
熟練者向けのメニューの設定もあるものの、熟練した参加者の募集や、安全を確保した上での具体的な実施方法など検討が必要となっている。

平成28年度の対策について

- 1 「白神山地の自然再生」をメインにしたPR活動を推進する。
具体的には、プレスリリースの活用や、ポスター・チラシなどの配布設置をこれまで以上に進めていく。
- 2 白神山地の自然再生に貢献しているイメージを啓発するPRチラシなどを各企業や、ボランティア団体向けに配布して、参加者の底上げを図る。
- 3 参加者の皆さんの気持ちの間延びしないような、例えば午前と午後で作業を変えるなどのメニューを検討する。
- 4 林業の事業者、建築・造園業者などに、「白神山地の自然再生活動」をメインにしたPRをおこない、自然再生活動への積極的な参加を促す。
また、後継者育成の観点から、大学等との連携による中高生、大学生を対象とした自然再生活動の実施について検討を行う。